令和７年２月備前市教育委員会定例会会議録

１　開催日時　　令和７年２月１０日（月）
　　開会　午後3時00分　　閉会　午前4時10分

２　開催場所　　備前市役所６階　委員会室

３　会議区分　　定例会

４　出席委員

議席番号	職　　名	氏　　名	出欠
1	委　　員	出　井　鉄　二	出
2	委　　員	田　中　道　生	欠
3	委　　員	金　谷　美　圭	欠
4	委　　員	原　田　千　暁	出

５　出席者

職　　名	氏　　名	出欠
教育長	今　脇　誠　司	出
総合教育部長	畑　下　昌　代	出
教育総務課長	杉　田　和　也	出
教育政策課長 幼小中高一体校準備室長	春　森　弘　晃	出
小中一貫教育課長	谷　口　健　一	出
幼児教育課長	文　田　栄　美	出

６　付議事件　　議案等付議事項のとおり

７　会議状況　　議事録のとおり　　傍聴人　なし　　非公開　あり

８　署名委員　　４番　　原　田　千　暁

９　書　　記　　教育総務課課長補佐　川﨑　誠

議　案　等　付　議　事　項

区　分	案　　件　　名
議案第 2 号	令和6年度備前市教育関係補正予算の提出について
議案第 3 号	令和7年度備前市教育関係予算の提出について
~~報告第 4 号~~	~~人口減少について~~

今脇教育長　委員の皆様には令和７年２月教育委員会会議定例会にご出席いただきまして、ありがとうございます。それでは定例会を開会いたします。只今の委員の出席は私を含めまして３名でございます。定足数に達しておりますので、令和７年２月備前市教育委員会会議定例会を開会いたします。

委員並びに出席職員に申し上げます。教育委員会会議の議事等会議は、人事、争訟のほか、市議会の議決を経るべき事項の原案、個人、団体情報を公開することにより個人の権利利害を害する恐れのある事項、例示いたしますと、問題行動や児童生徒指導上の案件などにあっては、委員会の議決をもって非公開といたします。非公開審議の事例はかなり煩雑になりますので、あらかじめご承知おき願います。委員会会規則及び委員会申し合わせにより、議事内容や発言内容に関する指摘はあらかじめわかる場合は教育長から発議し、そうでない場合は発言途中であっても委員並びに首席職員からの発言を認めますので、教育長にその旨を告げていただき、私から発議するなど、所要の手続きを行いたいと思います。以上、よろしくお願い申し上げます。

次に、政務報告をいたします。前回からは１件のみになりますが、２月６日、７日、現地にいたのは６日､7 日にほぼなりますね､フィリピンのコルドバ町というところへ、備前市と教育文化交流協定の締結に行ってまいりました。今後の英語教育の一層の推進に結びつけて、結びつけられていくことを期待しております。

それでは、早速議事に入ります。まず１番、前回定例会会議録の承認ですが、令和７年１月定例会の会議録について、委員の皆さんでお気づきの点はございませんでしょうか。

教育総務課課長補佐　今回は提出できていないので、次回にお願いさせていただきます。

今脇教育長　そうですか。はい。

次に、2 番、署名委員の決定ですが、今回は４番、原田委員、お願いいたします。

引き続き、3 番、議案等付議事項について審議を行います。それでは、議案第 2 号、令和６年度備前市教育関係補正予算の提出について、事務局から説明願います。教育総務課長。

教育総務課長　はい。それでは、教育総務課から申し上げます。まず、歳入について、国庫支出金、国庫補助金、教育費国庫補助金ですが、へき地児童生徒援助費等補助金、こちらの方はスクールバスの補助金になります。当初予定した金額よりも大幅に減となっておりますが、交付決定額の確定により減額としております。それから、財産収入、財産運用収入、利子及び配当金７千円、米百俵基金積立金利子、これは実績による調整になります。それから、繰入金、基金繰入金、米百俵基金繰入金、米百俵基金繰入金、こちらも実績による減となります。

続いて歳出ですが、教育費、教育総務費、事務局費についてですが、こちらは負担金補助交付金で、電子ポイントの助成金になります。小学生、中学生、高校生の入学お祝い金として、人数については、小学生が 180 人で１人あたり５万円、中学生が 200 人で１人あたり７万円、高校生が 200 人で１人あたり 10 万円分で、令和７年３月１日を基準日として交付対象者とします。財源の方は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当することとしております。それから次が教育費、保健体育費、学校給食費ですが、パートタイム会計年度任用職員の報酬減で、こちらは実績により減としております。続いて、諸支出金、基金費、積立金、米百俵基金積立金利子についても、実績による増額としております。以上でございます。

今脇教育長　（歳入の）米百俵基金繰入金の下段はマイナスではありませんか。

教育総務課長　失礼しました。（記載漏れのため）マイナス 20 万円です。はい

今脇教育長　委員の皆様、加筆を。次に、教育政策課長、お願いします。

教育政策課長　教育政策課分につきましては、ほとんどが実績見込みによる減額になります。最初に、民生費、２つともですね、放課後児童クラブにつきましての減額になります 295 万５千円と 81 万５千円。それから次に、教育費の方が、基本的に教育費が３つ続けてが、全て放課後子ども教室の運営費用の減額部分があります。謝礼の方が 1700 万円の減額で、旅費の方が 100 万円減額で、運営費用としての消耗品費が 200 万円減額となっております。そのうち報償費につきましては、今回、コルドバとの協定のために記念品費を買いましたので、予算の組み替えを行い、記念品等を 20 万８千円としております。最後に、IB 関係の小中学校管理運営事業として、教育費の中の研修会等参加負担金が 1649 万円で実績見込みによる減額となっております。以上になります。

今脇教育長　はい、小中一貫教育課長

小中一貫教育課長　はい。小中一貫教育課分です。まず、歳入についてですが、教育活動を支える教師業務アシスタント配置事業の県からの補助金が増額となっております。これは、配置基準の拡大によるものを受けてとなっております。

次に、歳出についてですが、旅費、健診委託料、重度障害児通学援助費、講師謝礼については、実績及び実績見込みによる減額となります。また、１ページめくっていただきまして、GTEC の手数料につきましては、県費で英検 IBA を受験することとなり、不要というふうになっております。小中一貫教育科分については以上となります。

今脇教育長　これ、下の段は、円になるのですね、教育総務課と書き方が違うので統一してください。はい。幼児教育課長。

幼児教育課長　はい。それでは、幼児教育課分の補正予算を説明させていただきます。まず、歳入につきましては、公定価格の改定に伴いまして、国庫支出金、県支出金ともに増額となっております。内容は、子供のための教育・保育給付交付金、負担金となっております。こちらは小規模保育や広域入所の運営費の補助となっております。

次に、歳出でございますが、民生費、児童福祉総務費の扶助費として、こちらも公定価格の改定に伴いまして、小規模保育事業所への給付金の増額となっております。同じく民生費保育幼稚園費の委託料でございますが、まず、子ども園 2・3 号認定運営事業費として、通園バスの運行委託料は実績見込みによる増額です。これはタクシー会社への委託が増額したことによるものです。広域入所保育園運営費委託料につきましては、こちらも公定価格の改定に伴う増額です。こども園 1 号認定運営事業費として、こちらの広域入所保育園運営費委託料ですが、これは年度途中の申請による増額でございます。当初の予算になかったものになりますので、こちらで増額ということになっております。それ以下の教育費の事務局費につきましては、報酬から旅費まで、会計年度任用職員の人件費に関するものでございます。そのうち、通園バス運転員の報酬につきましては、タクシー会社への委託料が増加したことによる減額となっています。そのほかにつきましては、実績見込みによる減額ですが、ALT の人件費が主なものとなっております。最後に、同じく教育費の教育研修諸費につきましては、ALT の教員研修事業となっていますが、こちらの方は、小学校、中学校の ALT と一緒に研修を行ったことによりまして、実績見込みによる減額となっております。以上です。

今脇教育長　はい。それでは、議案第 2 号についての説明が終わりました。何かご質問がございませんでしょうか。

教育総務課長　はい、失礼します。先ほど、教育総務課分で、歳出のところで 4300 万円、こちらの方、入学準備支援金でしたので訂正させていただきます。

教育委員　わからないので教えてください。教育政策課所管分の最後の IB による研修費を減額というところをご説明いただきましたが、当初、研修を計画されていて、研修実績がないということでしょうが、IB を進めるにあたって、研修に行かれた報告、職員、先生たちの研修も報告していただいたこともあります。で、進めるにあたって、熱意も感じていたのですが、研修の実績がないということの経緯を教えていただければありがたいなと思います。

教育政策課長　はい、これ昨年度予算要求段階においては、全国の研修する場所に先生方が行くので、その参加負担金とそれから旅費とかも全部あったのですが、実際は一部の校長先生とかコーディネーターの方だけが県外に行く形にして、それ以外の方は備前市で単独開催を行いましたので、15 校ありますので、その関係で市が独自でやった形になるので、その部分で参加負担金が大きく削減されたという形になります。研修につ

いては、以前守屋教育政策宵監から話がありました通り、実績としてはほとんどの先生が出られた形で見込みとしては進んでおりましたが、開催箇所等のみ見直しにより減額になったものになります。以上になります。

教育委員　はい、ありがとうございます。

今脇教育長　はい。ほかにございませんでしょうか。

教育委員　教育総務課所管分、歳入の部のへき地児童生徒援助費というところですが、スクールバスの運用に関わる補助金だと説明がありました。へき地にあたる児童生徒とは、どこの地域で何人ぐらいいるのでしょうか。

教育総務課長　まず、へき地については備前市全体になります。

教育政策課長　このへき地児童生徒援助費等補助金につきましては、小学生の方は通学距離が 4 キロ以上、それから中学生については通学距離が 6 キロ以上という規定があります。その関係で補助金の方が出ますので、実際のスクールバスの配車につきましては、例えば小学生であれば 4 キロのところを市の独自基準で 2 キロぐらいまでの方は乗せたり、中学生の方も 3 キロの方ぐらいまでは乗せて通学バス出しているのですが、そのバスについての補助金自体がもう国で決められた基準の人しか出ないので、あとは全部持ち出しした形になります。今回対象となる補助金につきましては、スクールバスの購入の補助金を約 600 万円と見込んでいたところですが、およそ 60 万円の補助金しかつかなかったので、減額としております。補助金を申請した路線が 20～30 人ぐらいの乗者人数でしたが、補助対象となる人数は 2 人か 3 人しかいなかったので、残りは補助対象外となるため大きく減額になったということになります。以上になります。

今脇教育長　はい。ほかにございませんか。はい。それでは、他にご質問はないようですので、議案第 2 号、承認してよろしいでしょうか。よろしいですか。はい。それでは、ほかに質問がないということですので、議案第 2 号については承認することといたします。以上で議案第 2 号の審議を終わりました。

　それでは、議案第 3 号、令和 7 年度前市教育関係予算の提出について、事務局から説明願います。はい。教育総務課長。

教育総務課長　まず、歳入の方からなりますが、項目が非常に多いので、昨年度との比較で大きく変更している点について説明させていただきます。（歳入につきまして）
国庫支出金、国庫補助金、教育費国庫補助金ですが、下から 9 行目、先ほどもございましたが、学校管理費補助金のへき地児童生徒費補助金 390 万円、内容については歳出の方で説明させていただきます。それから、その下、公立学校情報機器整備費補助金、小中学生児童生徒用のギガ端末の更新、7686 万 9 千円、こちらも歳出の方で説明させていただきます。同じく、GIGA スクール構想支援体制整備事業費補助金、394 万 2 千円も上がっております。次のページに移ります。上から 3 つ目、繰入金、基金繰入金、米百俵基金繰入金については、昨年との比較では、奨学金資金貸付事業が 1242 万円で、前年比 400 万円ほど増としております。それから、諸収入、雑入、雑入の職員給食費徴収

金が 3030 万円あまりということで、約 600 万円の増額となっております。こちらの方は、単価、日数、人数の見直しにより増額となっております。

続いて、歳出の方になります。教育費、教育総務費、教育委員会費は昨年とほぼ同額ですので省略します。事務局費についてですが、こちらの方で備品購入費ございます。備品購入費はスクールバスの購入事業になりますが、14 人乗りが 2 台、29 人乗りが 3 台で新規購入を予定しております。それから小学校費の学校管理費ですが、電算システム改修委託料といたしまして、各学校のネットワークシステムの改修で、新規事業で 1055 万 8 千円、それから委託料で香登小学校のプール解体工事設計費で 200 万円、それから備品購入費で、児童用ＧＩＧＡ端末の更新が 8190 万 3 千円を計上しています。次に教育振興費ですが、こちらの方では、各校に 100 万円を配分して、通常の予算配分とは別枠で予算を組んでおりまして、各校の実情に合わせて活用していただきたいということで予算を組んでおります。内訳は、報償費として、教職員研修費の講師謝礼、こちらが 20 万円の 10 校で 200 万円、旅費で研修旅費が 15 万円の 10 校で 150 万円、委託料で研修委託料が 20 万円の 10 校で 200 万円、備品購入費で、授業改善に資する備品で 33 万円の 10 校で 330 万円を計上しております。続いて、中学校費の学校管理費になります。こちらの方でも委託料で電算システムの改修委託料、各学校のネットワークシステムの改修費で、527 万 9 千円を計上。それから、備品購入費の中で、生徒用ＧＩＧＡ端末の更新で、4388 万 4 千円を計上しています。同じく中学校費の教育振興費、こちらでも小学校費と同じく、学校応援費ということで、各校に 100 万円を予算配分しております。報奨費で学校研修費、講師謝礼が 20 万円の 5 校で 100 万円、旅費で研修旅費が 16 万 9 千円の 5 校で 84 万 6 千円、委託料で研修委託料、20 万円の 5 校で 100 万円、備品購入費で授業改善に資する備品で 33 万円の 5 校で 165 万円を見込んでいます。それから、高等学校費の高等学校総務費については省略します。続いて、高等学校費の高等学校管理費ですが、こちらについては、給食ポイントの給付ということで、これまで片上高校の給食費は弁当とかパンと牛乳をあらかじめ予約を取って準備をしていましたが、食品ロスが結構出ているということで、このフードロス解消を目的に、今度はポイント制での給付としたいということで予算組みをしております。続いて、高等学校費の教育振興費の中で、こちらも学校応援費として、片上高校は総額で 30 万円としておりますが、委託料の研修委託料で 10 万円、それから備品購入費で 20 万円を組んでおります。あと、保健体育費の学校給食費については、賄い材料費の増額しております。教育総務課からは以上です。

教育政策課長　はい。それでは、教育政策課分を説明させていただきます。歳入につきましては従来通りになります。

歳出の方は、まず民生費の放課後児童クラブ事業について、今年度につきましては、伊部かぜのこ、備前中学校の前にあるところですが、そちらの方の雨除けを 110 万円で工事請負費として予算要求させていただいております。次に、小中学校の管理運営事業

として、放課後子ども教室の先生の講師謝礼代として 2160 万円。それから、新年度、ＡＬＴの方を数多く、国外の方、先ほどの教育長の言われたところの、フィリピンのコルドバの方の斡旋を受けた形で来ていただく形になりますので、その方々のサポート委託料として 2 億 8 千万円の要求をさせていただいております。また、負担金補助及び交付金として、ＩＢの年会費と英検受験料がございますが、150 万円を英検の受験をする際に補助をしたいと思っておりますので、そういったものも踏まえた形で 2500 万円となっております。教育政策課分としては以上になります。

小中一貫教育課長　はい。小中一貫教育課分について説明いたします。歳入につきましては、14 ページの辺りに触れております。

　それから、歳出につきましては、14 ページから 16 ページのあたりについて示させていただいております。各項目、多少増減等ありますが、本年度とほぼ同様の取り組みができるような予算を計画しております。なお、令和 6 年度と比べ変わっているところといたしましては、令和 7 年度は、中学校において教科書が改定されることに伴いまして、教師用の教科書、指導書等の購入費を予定しております。以上です。

今脇教育長　はい。それでは、幼児教育課長。

幼児教育課長　はい。それでは、幼児教育課の所管分について説明いたします。まず、歳入ですが、分担金及び負担金としては、広域の利用者の保育料と、それから滞納分の繰り越し分、それから日本スポーツ振興センターへの負担金となっております。使用料につきましては、職員の駐車場の使用料です。次に、民生費の使用料につきましては、こちら、ＮＴＴ、中電の電柱の使用料となっています。次に、国庫支出金ですが、子育てのための施設等利用給付交付金、こちらは認可外の施設の利用にかかる交付金となっています。その下の子どものための教育費、保育給付交付金、こちらの方は小規模保育事業所とそれから広域利用の分の補助の交付金となっております。次に、同じく国庫支出金の国庫補助金ですが、教育支援体制整備事業費交付金、こちらの方は接続マネージャーに関する事業の文科省の補助金となっております。それから、保育対策総合支援事業費補助金、こちらの方は医療的ケアの看護師の配置による人件費の補助となっております。次に、県支出金ですが、こちらの方は子育てのための施設等利用給付金ですが、こちらは県の負担金の分になっております。子どものための教育保育給付費負担金、こちらの方も県の分の補助金となっております。次に、県支出金県補助金の民生費県補助金ですが、児童健全育成補助金、こちらは保護者会の補助金となっております。次に、第 3 子以降保育料無償化事業費補助金、こちらの方は、単県の事業の第 3 子以降の無償化への補助金となっております。次に、同じく県補助金の教育費県補助金ですが、こちらの方は医療的ケア児の、先ほどの国の補助金の県の部分となっております。あと、諸収入、雑入に関しましては、給食費の徴収金、あとは一時保育の利用や延長保育の利用等の収入となっております。

　続いて歳出ですが、まず総務費ですが、こちらはマイクロバスの運転員の報酬で、遠

足等でバスを利用した際の報酬となっております。次に、民生費の児童福祉総務費では、私立の保育園の運営費補助金事業ですけれども、こちらの方は消耗品費と扶助費ということで、先ほどの小規模保育所の交付金に当たる部分になります。備前市ではどんぐり園への補助金となっております。それから、地域組織活動育成事業費、こちらの方が母親クラブ、保護者会への活動補助金となっております。次世代育成支援対策事業につきましては、こちらは認可外の保育施設の利用助成金となっております。それから、民生費の保育幼稚園費ですが、こども園 2、3 号認定の運営事業費、それからこども園 1 号認定の事業運営費、それから一時保育事業費となっております。それぞれ園医の報酬や、需用費消耗品等が含まれております。次に、教育費、教育総務費、事務局費ですが、こちらは職員の給与費、会計年度職員の給与費となっております。こども園の部分が、こちらの方が 3 億 8193 万 9 千円、これはＡＬＴと園の保育教諭の給与となっております。それから、こども園 2、3 号認定の運営事業費 231 万円ですが、こちらの方は、吉永の通園バスの報酬と、それからＡＬＴの英語教材等になります。それから、子ども園 1 号認定運営事業の 382 万 5 千円ですが、こちらの方は接続マネージャーに関する報酬と手当てになっております。

それから、債務負担行為といたしましては、健康診断の園児の分ですけれども、そちらの委託料となっております。資料の方にはございませんけれども、幼保一体型施設の整備事業費といたしまして、測量調査設計等委託料を計上する予定でございます。これは香登認定こども園に関するものでございまして、検討会議の中で比較検討するための資料が必要なことから、100 万円の委託料を計上する予定にしております。幼児教育課からは以上です。

今脇教育長　議案第 3 号についての説明は終わりました。何かご質問ございませんでしょうか。発送までに動きがあったらまた連絡させていただきます。質問ございませんでしょうか。何かここ深く聞きたいところ。

教育委員　ＡＬＴの委託料について、今年度と比べて、新しく契約した関係で、前年度と比べてどういう計算になってるのかなと思います。

今脇教育長　はい、教育政策課長。

教育政策課長　今、現状のＡＬＴさんにつきましては、教育政策課内の英語教育グループがございますが、そちらの方で色々なサポート等をしているのが現状です。研修とかの分だけ委託で外に出しております。で、来年度、今のところ新しく、それとは別で、国際交流に基づいて、市長の要望としては各学年に 1 人ずつという設定でなっております。で、各学校ですね、各学校、各学年に 1 人ずつと、あと子ども園に 1 人ずつの配置になるので、現状のＡＬＴ職員が 10 人ぐらいいるので、残りが大体 75 人ぐらいになるとの想定で、交流協定の方ではあっせんをお願いしているところです。その新しい 75 人に対する委託料、生活支援であったり授業支援だったり、特に海外から初めて来られるので、その分の、海外の方が来られる時のガイドラインというのがありまして、雇用

する時の渡航費とかそういったものも委託のその経費の中で見なさいよ、という部分がございますので、そういったものも日本国内におられる方とは別で、様々なものが込みとなって、1 人大体 350 万円前後の費用として見込んでおります。以上になります。

教育委員　~~子~~こども園も同じですか、各園に 1 人ずつつく。

教育政策課長　はい。先ほど申しましたように、現状の方が 10 人おられて、当初予算の段階では、今おられる方は現時点の学校におられるベースで予算を要求しております、人件費とかですね。そういったものを要求しておりますが、それに付随して、実際、人事異動で園が変わったり、学校から園に行ったりとか、様々しますので、今の方々についての 10 名というのは委託料というのがありません。それで、さらに 10 園には、それぞれ新しい方が来られる場合か、既存の方が来られる場合かというのは別として、各園に 1 人ずつ配置するという設定をしております。で、また、それ以外の学校については、今のところの想定としては、基本的には 1 学年に 1 人の想定で計上はしていますが、実際は西鶴山小学校や東鶴山小学校は複式になっておりますので、そういった部分で余ったところが学級数の多い伊部小学校であったり、備前中学校であったりに、ちょっと想定より多く配置する可能性があるというのが現状でございます。以上になります。

教育委員　はい。ありがとうございます。学校、学校園の規模によっての説明がありまして、配慮されるということをお聞かせいただきました。小規模園に、各クラスに 1 人ずつ、複式を含めての説明がよくわかりました。各規模にあった適当な人数配置をお願いしたいなと思います。以上です。

教育政策課長　そうですね、おっしゃる通り、現状 10 園全部になっておりますが、例えば大内分園について、想定は 4 歳 5 歳が対象になっているのですが、大内分園の状況によってはですね、その方については、伊部の方の配置に代えて、伊部の園の方が 2 人になるようなことも想定されますので、最終的な配置の現状は未定です。あくまでも想定としては、各園に 1 人という配置で予算要求はしているという形になりますので、ご理解いただけたらと思います。以上になります。

今脇教育長　よろしいですか。

教育委員　予算は予算で理解させていただきました。でも今年度も、蓋を開ければＡＬＴが足りなかったという現状があります。その辺を、協定にも行かれたということで、70 何人って言われましたかね、必要な人数が確保できるのかどうかというのをお話くださっているとは思いますが、予算を組みました、人数配置も希望しますって言ったところで、実際は配置が不十分だったということにならないようにお願いしたいなと思います。以上です。

教育政策課長　はい。本日午前中にも厚生文教委員会で議員さんからもございましたが、2 月 7 日に調印を結んだばかりですので、実際そちらの方からのあっせんの内容とかを踏まえての形になりますので、現状は、市長が想定して相手の方にお願いしたものをベースで予算要求をさせていただいておりますので、あとはおっしゃった通り努力すると

しかちょっと現状ではお答えできないところになりますので、ご理解いただけたらと思います。以上になります。

今脇教育長　はい、よろしいですか。

教育委員　小中一貫教育課所管分の中の歳入の部で、県支出金委託金、教育費県委託金の中の主体的な学びの基盤づくり業委託金がありますが、これはどんな内容のものなのか、県がどのような施策をお願いしているのかということをお聞きしたいと思います。

小中一貫教育課長　はい。こちらにつきましては、主に放課後を利用した補習ができるような機会を設けようというもので、それに対する人件費であったり、ちょっとした事務用品であったりといったようなものが補助対象となっております。

今脇教育長　よろしいですか。ほかにございますか。詳しく聞きたい事がありますか。よろしいですか。はい。また気づいたことがあったら、また聞いてください。はい。それでは、質問がこれ以上ないようですので、議案第 3 号、承認してよろしいでしょうか。それでは、異議がないようですので、議案第 3 号については承認することといたします。また動きがありましたら連絡をさせていただきますし、それから、欠席委員さんの方にも見ていただくようにしたいと思います。以上で議案第 3 号の審議を終わります。次に、報告第 4 号、人口減少についてですが、今月は議案審議をメインに開催しておりまして、前回の開催からから日にちが経っておりませんので、ちょっと省略をさせていただきたいと思います。引き続き、議事 4 番の次回の教育委員会会議の決定について、事務局は説明願います。はい。教育総務課長。

教育総務課長　事務局の方からは、3 月の 25 もしくは 26 日あたりでいかがかということで提案させていただきます

今脇教育長　はい、いかがでしょうか。3 月 26 日 10 時からこの場所、市役所 6 階委員会室ということでよろしいでしょうか。

教育政策課長　すいません、1 点、この日程の場合は、3 月の 21 日か 24 日のあたりで、人事異動案件の書面による審査の方をお願いする形になると思いますので、そちらの方はまたお送りした上で、最終、その分の内容を報告事項として先ほどの 3 月 26 日にさせていただけたらなと思いますので、よろしくお願いいたします。

今脇教育長　よろしいですかね。はい。それでは、次回教育委員会会議定例会は、3 月 26 日水曜日の 10 時から、この場所、市役所 6 階委員会室で開催をいたします。次に、5 番、3 月の行事予定及び共催・後援予定について、事務局から説明を願います。

教育総務課課長補佐　3 月の行事予定についてですが、青少年育成カレンダーにもございます通り、3 月の 14 日が中学校の卒業式となっております。それから、18 日が認定こども園の卒園式、それから 19 日が小学校の卒業式となっております。それから、三学期の終了式については 3 月の 26 日を予定しております。以上でございます。

今脇教育長　はい、しっかりと記録していただいて。出席のほどを。そのほか何かありませんですか。よろしいですか。はい。それでは、以上で 2 月教育委員会会議定例会を

閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。